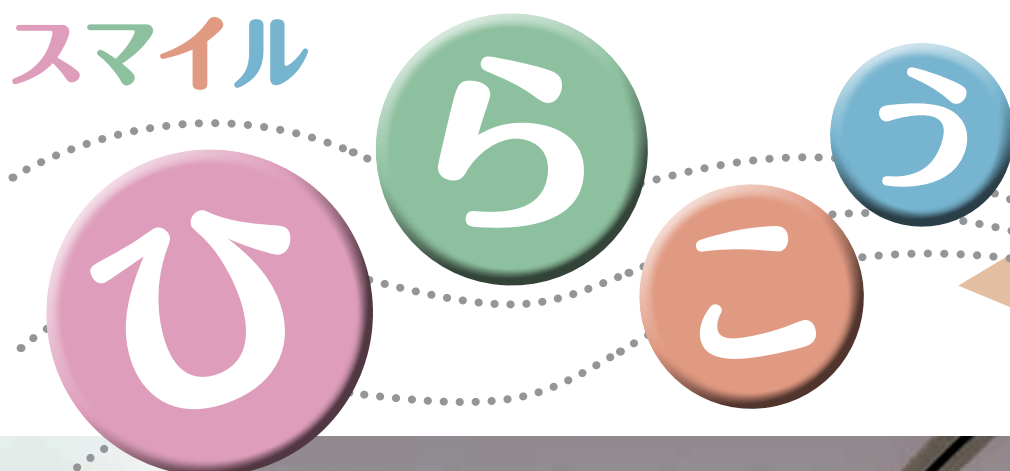


スマイル



2025

春



特集

不整脈外来と脳血管内治療外来のお知らせ

新入職医師紹介／手術室からのお知らせ／心不全シールについて／
認定看護師通信 vol.70

不整脈外来と脳血管内治療外来のお知らせ

不整脈外来

枚方公済病院では2025年4月より
不整脈外来を開設いたします。

当院では 2022 年 8 月より城山病院 吉谷和泰先生、京都大学 田中宗和先生のご指導で、アブレーション治療を再開し、2025 年 3 月末迄に 255 件のアブレーション治療(心房細動 181 件、発作性上室性頻拍症 43 件、心房粗動・心房頻拍 25 件、心室頻拍・心室性期外収縮 12 件)を実施いたしました。

合併症としては院内死亡なし、心タンポナーデ 1 例、一過性記憶障害 1 例、一過性心膜炎・胸膜炎 4 例、心不全増悪 4 例と非常に良好です。また心房細動初回治療の臨床的再発率 5.4% と非常に低く、良好な長期的治療成績が得られております。

不整脈外来は 2025 年 4 月からの毎週火曜日 14:00 からで、奇数週は京都大学 田中宗和先生が偶数週は竹中琴重先生が担当いたします。

不整脈について幅広いご相談に対応させていただきます。

診療予約は地域医療連携室までご連絡下さい。



当院医師
竹中 琴重

城山病院
循環器科・不整脈科
吉谷 和泰先生

京都大学大学院 田中 宗和先生

このたび、4 月 1 日より火曜日の奇数週に「不整脈外来」を担当させていただきますこととなりました。

これまで、不整脈分野におけるカテーテルアブレーション治療、デバイス治療、薬物治療などを担当してきました。これらの専門性を活かし、患者さんにとって最善の治療を提供できるよう努めてまいります。

動悸や息切れは、不整脈の症状である可能性があります。気になる症状がございましたら、お気軽にご相談ください。

当院医師 竹中 琴重

不整脈外来では、ご紹介いただきました患者様を数か月当科にて診療させて頂くことができます。

その間、アブレーション治療のみではなく、薬物治療、併存する睡眠時無呼吸や飲酒・体重過多に対する食事指導等を行い、不整脈のコントロール、合併症予防を行い、できる限り安定した状態で、お戻りいただくよう努力いたす所存です。また、患者様の QOL の向上や合併症の回避をめざし、診療をおこなってゆく所存です。

問題となることがございました折には、どうか、ご教示、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



当院医師
竹中 琴重

京都大学大学院
田中 宗和先生



脳血管内治療外来

2025 年 4 月 1 日より新たに開設された脳血管内治療外来の担当医師として、毎週火曜日午後に診療に携わせていただくことになりました、森田寛也と申します。私は 2012 年に神戸大学を卒業し、初期研修から後期研修前半までは東京で過ごしました。その後 2016 年より関西に戻り、富永病院という全国有数の症例を誇る病院で後期研修の後半を過ごし、脳神経外科専門医、脳血管内治療専門医、神経内視鏡技術認定医の資格を取得しております。その後、九州で最大の手術症例数を誇る福岡脳神経外科病院でその練度を高めてきました。

脳神経外科の手術は頭蓋骨を開いて顕微鏡を見ながら行う手術という印象が強いと思いますが、この 15 年くらいで脳血管内手術、すなわちカテーテルでの手

術がどんどん増えてきています。開頭術と比べて、お身体への負担が少なく、入院期間も少なく済むメリットがありますが、その一方で、トラブルが生じた際の対応が難しいというデメリットもあります。私は、開頭と血管内のどちらも自身で執刀しますので、患者さんの思いと病気自体の科学的な知見の双方からベストな診療をご提案できるように心がけております。

これから、よろしくお願いいたします。



大阪回生病院
脳神経外科
森田 寛也先生

2025 年 4 月より非常勤として脳神経外科の外来や手術のお手伝いをさせていただきます、榊原史啓（さかきばらふみひろ）と申します。

2006 年に防衛医科大学校を卒業し、海上自衛隊医官として約 12 年間勤務しました。その中で、2015 年から 2 年間、国内留学として札幌禎心会病院で研修し、世界的脳神経外科医である上山博康先生、谷川緑野先生のもとで、手術手技だけでなく、外科医としての精神論についても学びました。その後自衛隊を退職し、2018 年 9 月より、兵庫医科大学脳神経外科へ入局し、吉村紳一教授のもとで、2 年間で 130 件の外科手術を担当させていただき、大いに手術手技を向上させることができました。中でも、血管内治療技術の習得に力を入れ、2021 年 9 月、脳神経血管内治療学会専門医を取得しました。その後、千船病院に移り、

脳神経外科部長として勤務しています。

脳外科治療の多くは血管内治療に移りつつありますが、血管内治療か開頭手術か、患者さんに最適な治療法を選択し、実施するには、その両者を極めた二刀流の脳神経外科医である必要があります。脳神経外科医として 20 年、今なお修行の道半ばではありますが、生涯をかけて脳神経外科道を極めようと日々精進しております。微力ではありますが、枚方公済病院 脳神経外科の発展のため、お役に立てるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



千船病院
脳神経外科
榊原 史啓先生

新入職医師紹介



泌尿器科

久保田 聖史

本年 4 月より泌尿器科医長に着任しました久保田聖史（くぼたまさし）と申します。

これまでは、泌尿器がんの手術や全身療法、結石治療などの診療に従事してまいりました。

枚方公済病院においても、手術支援ロボット「Da Vinci」を用いた低侵襲手術がますます増加しております。

この枚方地域の皆さまに、身体に優しく、安心して泌尿器がんの治療を受けていただけるよう、精一杯貢献してまいります。

ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



歯科口腔外科

山田 康嗣

4 月より赴任いたしました歯科口腔外科の山田康嗣と申します。大阪歯科大学附属病院口腔外科に入局後、臨床・研究に従事しておりました。特記すべきことを持ち合わせてなく、ま

たここ数年は現場から離れていたこともありご迷惑をおかけするかもしれませんが、地域の皆様に貢献できるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

手術室からのお知らせ

当院の手術室では、現在消化器外科、整形外科、泌尿器科、心臓血管外科、脳神経外科、眼科、歯科口腔外科、皮膚科の手術が年間約2000件行われています。令和7年1月から呼吸器外科医が着任され、呼吸器外科の手術も行われております。

令和4年12月にロボット支援（ダヴィンチ）手術が導入され、外科の直腸手術、泌尿器科の前立腺手術、腎臓の部分切除術に適應されています。消化器外科は腹腔鏡下、呼吸器外科では胸腔鏡下での手術が中心になってきています。その結果開腹手術の割合が減り患者さんの肉体的・精神的負担も軽減されていると思われます。令和6年6月から肩関節疾患に特化した専門医も着任され、関節鏡下での手術も行われています。

麻酔科が令和7年4月から常勤医3名体制になり、5室ある手術室がフルに活用され、

今後益々活気づいていくと思います。手術室看護師は専門性を高めて活動をしており、医師や臨床工学技士など他職種と連携を取りながら緊急手術にもスムーズな対応ができるように取り組んでいます。

手術を受ける患者さんに日々寄り添い、看護する中で、患者さんが抱く様々な不安や疑問に直面しますが短時間の関わりの中で患者さんとの関係を築き、患者さん個々にあった情報を提供し、患者さん自身が手術に臨むための援助を行っています。手術前日には術前訪問をおこない、患者さんに向き合い安心感に繋がるように心がけ、術後には病室へ訪問し、術後の経過を確認しています。今後は、病棟やHCUのスタッフと密に連携し継続した看護ができるよう努めて行きたいと考えています。

手術室看護師長 三家本 順子



心不全シールについて

枚方公済病院では、外来における慢性心不全患者へのフォローアップを強化するための新たな取り組みとして、本年1月よりお薬手帳を持参している入院患者と救急外来受診患者を対象に、心不全シールをお薬手帳に貼付する取り組みを開始しました。この取り組みは、昨年6月から調剤後薬剤管理指導加算の対象が慢性心不全患者にも拡大され、心不全患者への薬局薬剤師の関わりが一層重要視されるようになったことを受けて開始する運びとなりました。

取り組みの背景と目的

心不全治療薬として、特にHFrEFに対してはFantastic4の導入が推奨されていますが、これらの薬剤は複数の適応症を有します。例えばSGLT2阻害薬では、慢性心不全の他に糖尿病や慢性腎臓病にも適応を有し、処方せんだけでは心不全患者であることが分かりにくいのが現状です。このため、薬局の先生方の介入が困難な場合が少なくありません。このような課題を解決するため、お薬手帳に貼付する心不全シールを作成しました。心不全ステージC、Dの患者を対象にシールを貼付することにより、薬局の先生方が心不全患者であることを認識しやすくなり、指導や介入のきっかけを提供できるのではないかと考えています。

レインボー手帳との連携

当院では、心不全患者に対してオリジナルの心不全手帳「レインボー手帳」を配布しています。しかし、患者が薬局でこの手帳を提示することは少なく、薬局の先生方がフォローアップする機会が限られているのが現状です。心不全シールは、薬局でのレインボー手帳の確認を促すきっかけにもなると考えています。心不全シールをきっかけに、地域での心不全患者のフォローアップ体制をより強化できればと考えています。

薬局の先生方には、介入していくなかで気づいたことがあれば、些細なことでも結構です。のでフォローアップシートを当院に送付していただけますと幸いです。

薬剤師 心不全療養指導士 熊谷 春佳



心不全シール



レインボー手帳



活動報告

クリティカルケア領域では、心停止時・心停止前の急変対応やフィジカルアセスメントのシミュレーション研修も重要になってきます。

一般病棟では、救命処置や急変前の対応に当たることは、年に数回、もしくはほとんど当たらない人も多く、再現性のないシチュエーションであるため、あらゆる事態を想定し、訓練によって身に着けることが大切です。

そのため、コメディカルも含め、各部署で年2回の急変対応シミュレーションを行うことを目標に活動をしています。

今回は、当院にある2体のシミュレータを紹介します。

クリティカルケア認定看護師 村上 千亜紀



レサシアン シミュレータ PLUS

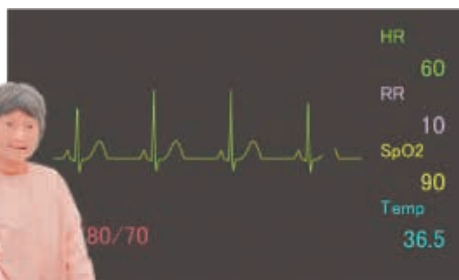


主な用途：CPR トレーニング

Simpad（リモコン）で設定操作

可能な事項：胸骨圧迫（評価可） BVM換気（評価可）
気管挿管（評価可）
モニタ装着 電気ショック
脈触知（右橈骨、右正中右頸）
呼吸音聴取

年2回の院内ICLS、各部署の急変対応シミュレーション研修等に使用



主な用途：フィジカルアセスメント 心停止前急変対応、看護ケア

付属のiPadで操作、PC画面で確認

可能な項目：脈拍触知（両橈骨、両正中） 血圧測定
聴診（呼吸音＜気管支部、両上・下肺域＞
心音＜心基部心尖部＞ 腸音 看護ケア
胸骨圧迫・BVM換気・気管挿管（手技は可能だが評価不可）

禁忌事項：電気ショック（訓練用のAEDトレーナーは可能）

実習指導委員会によるフィジカルアセスメント研修、急変前対応ラダー研修に使用

..... 各分野認定看護師

クリティカルケア：村上／恒吉
慢性心不全看護：原谷
感染管理：篠原／濱崎
集中ケア：水本
皮膚・排泄ケア：大西／近藤

認知症看護：藤原（則）／佐藤
嚥下・摂食障害看護：日向
がん薬物療法看護：多賀
緩和ケア：藤原（大）



交通のご案内

JRをご利用の場合

【電車】JR 学研都市線長尾駅下車 徒歩 10 分

【バス】長尾駅から京阪バス枚方市駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

【電車】JR 学研都市線藤阪駅下車 徒歩 10 分

【バス】藤阪駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

京阪電車をご利用の場合

【電車】京阪本線枚方市駅下車（京阪バス南口から長尾駅行）

【バス】枚方市駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

※これまで枚方公済病院と長尾駅間のみで運行しておりました無料シャトルバスが、2025 年 4 月 1 日より楠葉方面への運行を開始いたしました。

（詳細は当院ホームページをご参照ください）



理念と基本方針

理念

医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院



※病院ホームページ

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093
<https://hirakoh.kkr.or.jp/>